



ハードウェア リファレンスガイド

HP EliteDesk 800 G1 デスクトップ ミニ型
HP EliteDesk 705 G1 デスクトップ ミニ型
HP ProDesk 600 G1 デスクトップ ミニ型
HP ProDesk 400 G1 デスクトップ ミニ型

© Copyright 2014 Hewlett-Packard
Development Company, L.P.

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation およびその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

ここに記載されている情報の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。ここに記載されている情報のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。ここに記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。ここに記載されている情報の内容につきましては万全を期しておりますが、ここに記載されている情報の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

改訂第 3 版：2014 年 12 月

改訂第 2 版：2014 年 11 月

改訂第 1 版：2014 年 5 月

初版：2014 年 3 月

製品番号：756961-294

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

すべての機能を Windows 8 のすべてのエディションで利用できるわけではありません。Windows 8 の機能を最大限に活用するには、ワークステーションをアップグレードするか、ハードウェア、ドライバー、ソフトウェアなどを別途購入する必要があります。詳しくは、<http://www.microsoft.com/> を参照してください。

Windows 7 ソフトウェアをインストールし、Windows 7 の機能を最大限に活用するには、ワークステーションをアップグレードするか、ハードウェアや DVD ドライブを別途購入する必要があります。詳しくは、<http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows7/get-know-windows-7/> を参照してください。




ソフトウェア条項

このコンピューターにプリインストールされている任意のソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、またはその他の方法でを使用することによって、お客様は HP EULA の条件に従うことに同意したものとみなされます。これらのライセンス条件に同意されない場合、未使用の完全な製品（付属品を含むハードウェアおよびソフトウェア）を 14 日以内に返品し、購入店の返金方針に従って返金を受けてください。

より詳しい情報が必要な場合またはコンピューターの返金を要求する場合は、お近くの販売店に問い合わせてください。

このガイドについて

このガイドでは、HP デスクトップ ミニ型 Business PC の機能およびハードウェアのアップグレードの基本的な作業手順などについて説明します。

-  **警告！** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。
 -  **注意：** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。
 -  **注記：** 重要な補足情報です。
-

目次


1 製品の特徴	1
標準構成の機能	1
フロントパネルの各部 (EliteDesk 800、EliteDesk 705、ProDesk 600)	2
フロントパネルの各部 (ProDesk 400)	3
リアパネルの各部 (EliteDesk 800)	4
リアパネルの各部 (EliteDesk 705)	5
リアパネルの各部 (ProDesk 600)	6
リアパネルの各部 (ProDesk 400)	7
シリアル番号の記載位置	8
2 ハードウェアのアップグレード	9
保守機能	9
警告および注意	9
電源コードの接続	11
コンピューターのアクセスパネルの取り外し	12
コンピューターのアクセスパネルの取り付け	13
横置きから縦置きへの変更	14
ハードディスクドライブの取り外しおよび取り付け	15
メモリの増設	19
SODIMM	19
DDR3-SDRAM SODIMM	19
SODIMM ソケットについて	20
SODIMM の取り付け	21
電池の交換	24
セキュリティロックの取り付け	27
ロックケーブル	27
南京錠	28
付録 A 静電気対策	29
静電気による損傷の防止	29

アースの方法	29
付録 B コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意	30
コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意	30
運搬時の注意	31
索引	32

1 製品の特徴

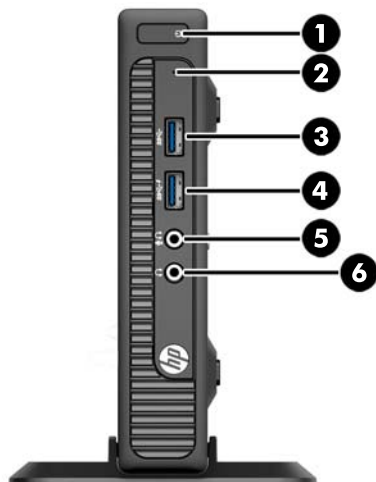
標準構成の機能

機能は、モデルによって異なる場合があります。お使いのコンピューターに取り付けられているハードウェアおよびインストールされているソフトウェアの一覧を表示するには、診断用ユーティリティを実行します（一部のモデルのコンピューターにのみ付属しています）。

 **注記：** このモデルのコンピューターは、縦置きおよび横置きのどちらでも使用できます。縦置き用スタンドは別売です。



フロントパネルの各部 (EliteDesk 800、EliteDesk 705、ProDesk 600)



1 電源ボタン

2 ハードディスクドライブランプ

3 USB 3.0 ポート

4 充電機能付き USB 3.0 ポート

5 マイク/ヘッドフォンコネクタ

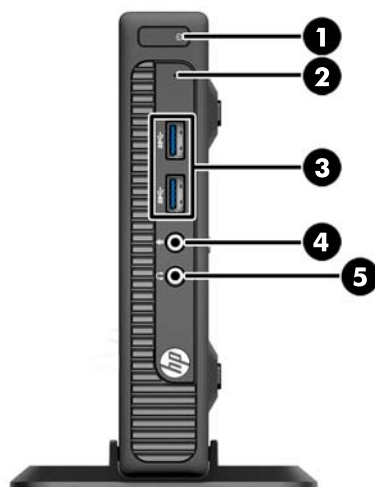
6 ヘッドフォンコネクタ

注記：充電機能付き USB 3.0 ポートは、スマートフォンなどのデバイスも充電できます。電源コードがコンピューターに接続されていれば、コンピューターの電源が切られている場合でも充電できます。

注記：マイク/ヘッドフォンコネクタにデバイスを接続すると、コネクタをマイク用のライン入力として使用するかヘッドフォン用にライン出力として使用するかをたずねるダイアログボックスが表示されます。コネクタは、Windows タスクバーのオーディオマネージャーのアイコンをダブルクリックしていつでも再設定できます。

注記：電源が入っていると、通常、電源ランプは白色に点灯します。コンピューターにトラブルが発生している場合は電源ランプが赤色で点滅し、その点滅パターンで診断コードを表します。コードについて詳しくは、『Maintenance and Service Guide』（メンテナンスおよびサービスガイド、英語のみ）を参照してください。

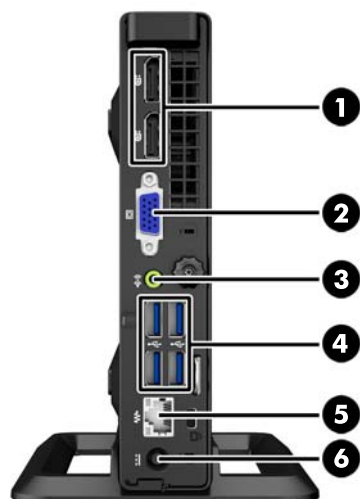
フロントパネルの各部（ProDesk 400）









1	電源ボタン	4	マイク コネクタ
2	ハードディスク ドライブ ランプ	5	ヘッドフォン コネクタ
3	USB 3.0 ポート		

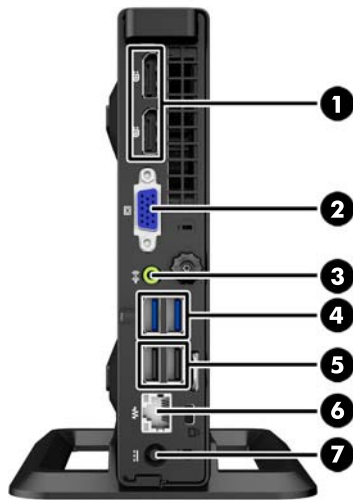
注記：電源が入っていると、通常、電源ランプは白色に点灯します。コンピューターにトラブルが発生している場合は電源ランプが赤色で点滅し、その点滅パターンで診断コードを表します。コードについて詳しくは、『Maintenance and Service Guide』（メンテナンスおよびサービスガイド、英語のみ）を参照してください。








リアパネルの各部 (EliteDesk 800)



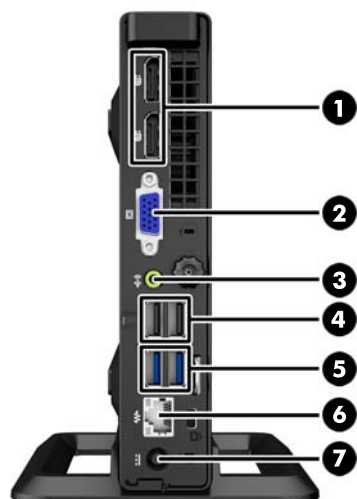
1	 DisplayPort モニター コネクタ (×2)	4	 USB 3.0 ポート (青色)
2	 VGA モニター コネクタ	5	 RJ-45 ネットワーク コネクタ
3	 ラインアウト オーディオ コネクタ 電源供給機能付きオーディオ機器用 (緑色)	6	 電源コード コネクタ








リアパネルの各部 (EliteDesk 705)



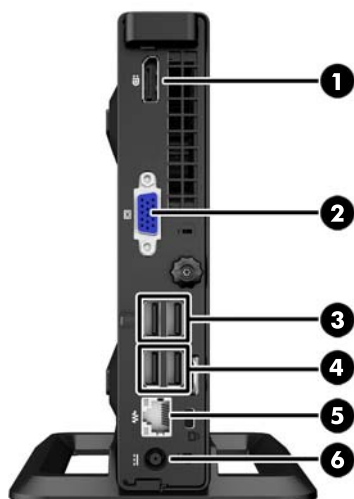
1	 DisplayPort モニター コネクタ (×2)	5	 USB 2.0 ポート (黒色)
2	 VGA モニター コネクタ	6	 RJ-45 ネットワーク コネクタ
3	 ラインアウト オーディオ コネクタ 電源供給機能付きオーディオ機器用 (緑色)	7	 電源コード コネクタ
4	 USB 3.0 ポート (青色)		







リアパネルの各部（ProDesk 600）



1	 DisplayPort モニター コネクタ（×2）	5	 USB 3.0 ポート（青色）
2	 VGA モニター コネクタ	6	 RJ-45 ネットワーク コネクタ
3	 ラインアウト オーディオ コネクタ 電源供給機能付きオーディオ機器用（緑色）	7	 電源コード コネクタ
4	 USB 2.0 ポート（黒色）		

リアパネルの各部 (ProDesk 400)



1	 DisplayPort モニター コネクタ	4	 USB 2.0 ポート (黒色)
2	 VGA モニター コネクタ	5	 RJ-45 ネットワーク コネクタ
3	 拡張電源機能対応 USB 2.0 ポート (黒色)	6	 電源コード コネクタ

注記: 上側 2 つの USB ポートは、デスクトップ ミニ型用外付け拡張スリーブをサポートする、追加の電源容量を備えています。

注記: 下側 2 つの USB ポートは、スリープ状態からの復帰に対応しています ([コンピューター セットアップ (F10) ユーティリティ]でこのオプションが有効になっている場合)。

シリアル番号の記載位置

各コンピューターの外側には、固有のシリアル番号ラベルおよび製品識別番号ラベルが貼付されています。HP のサポート窓口にお問い合わせになる場合は、これらの番号をお手元に用意しておいてください。



2 ハードウェアのアップグレード

保守機能

このコンピュータには、アップグレードおよび保守を容易にする機能が組み込まれています。この章で説明する取り付け手順のほとんどでは、道具を使用する必要がありません。

警告および注意

アップグレードを行う前に、このガイドに記載されている、該当する手順、注意、および警告を必ずよくお読みください。

⚠ 警告！ 感電、火傷、火災などの危険がありますので、以下の点に注意してください。

- 作業を行う前に、電源コードを電源コンセントから抜き、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してください。
- 電話回線のモジュラー ジャックを本体の背面のネットワーク コネクタ (NIC) に接続しないでください。
- 必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。
- 電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに差し込んでください。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。『快適に使用していただくために』は、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/> (英語サイト) から[日本語]を選択してご覧になれます。

⚠ 警告！ 内部には通電する部品や可動部品が含まれています。

カバーやパネル等を取り外す前に、電源コードをコンセントから抜き、装置への外部電源の供給を遮断してください。

装置を再び外部電源に接続する前に、取り外したカバーやパネル等を元の位置にしっかりと取り付けなおしてください。

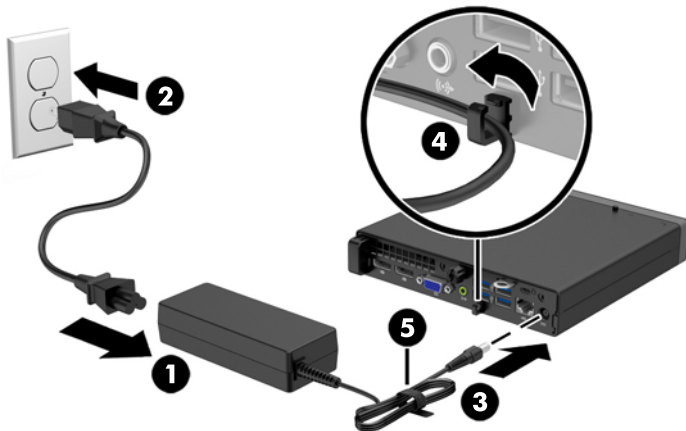
⚠ **注意**：静電気の放電によって、コンピューターや別売の電気部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、[29 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

コンピューターが電源コンセントに接続されていると、電源が入っていてもシステム ボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、コンピューターのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

電源コードの接続

電源を接続するときは、以下の手順に沿って、電源コードがコンピューターから抜けないようにする必要があります。

1. 電源コードのメス型コネクタを電源用アダプターに差し込みます (1)。
2. その電源コードのもう一方の端を電源コンセントにつなぎます (2)。
3. 電源コードの丸い端子をコンピューターの背面の電源コネクタに接続します (3)。
4. 電源コードを固定クリップに通し、コードがコンピューターから外れないようにします (4)。
5. 余分な電源コードを付属のストラップを使用してまとめます (5)。



⚠ 注意：電源ケーブルを留め具で固定していない場合、電源コードが外れてデータが失われる可能性があります。

コンピューターのアクセスパネルの取り外し

内部部品にアクセスするには、アクセスパネルを以下の手順で取り外す必要があります。

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピューターおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

⚠ 注意： システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外してから置きます。
6. コンピューターの背面にあるネジを緩めてから (1)、パネルを前方へスライドさせ、引き上げてコンピューターから取り外します (2)。



コンピューターのアクセスパネルの取り付け

パネルをコンピューターの上に置いてから後方にスライドさせ（1）、ネジを締めて（2）パネルを所定の位置に固定します。



横置きから縦置きへの変更

コンピューターは、HP から購入できるオプションの縦置き用スタンドを利用すれば、縦置き構成でも使用できます。

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピューターおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

⚠ 注意： システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

5. コンピューターを右側面が上になるように立て、オプションのスタンドに取り付けます。




📖 注記： 縦置きでのコンピューターの安定性を高めるために、付属の縦置き用スタンドを使用することをおすすめします。

6. 電源コードおよびすべての外付けデバイスを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。


📖 注記： 通気を確保するため、コンピューターの周囲 10.2 cm 以内に障害物がないようにしてください。

7. アクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

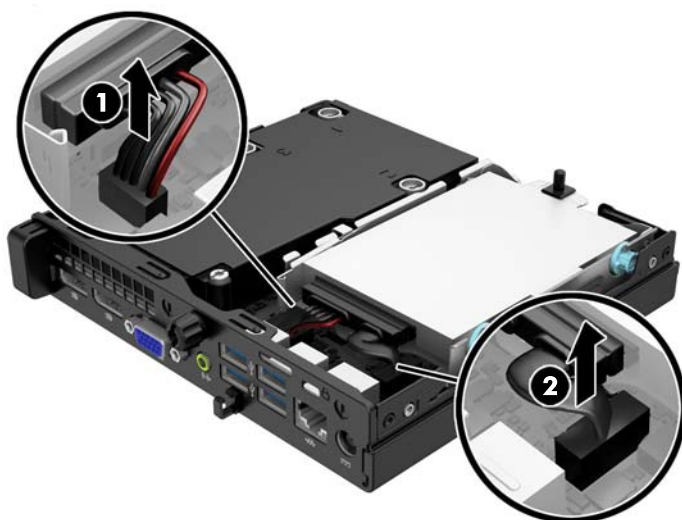
ハードディスクドライブの取り外しおよび取り付け

 **注記:** ハードディスクドライブを取り外すときは、新しいハードディスクドライブにデータを移動できるように、必ず事前にドライブ内のデータをバックアップしておいてください。

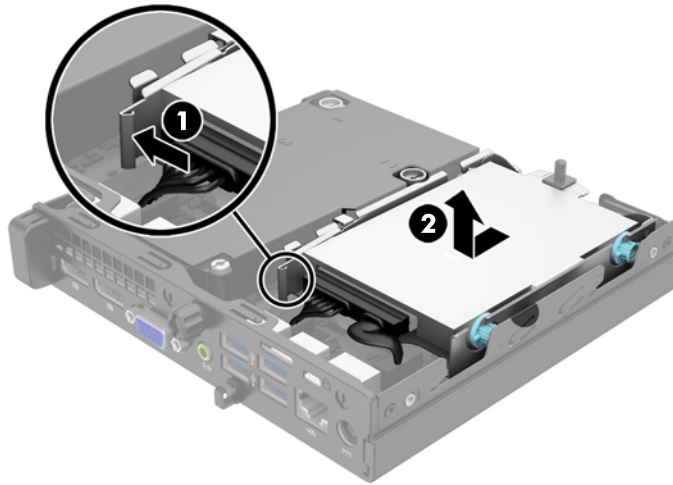
1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティデバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンし、コンピューターおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

 **注意:** システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

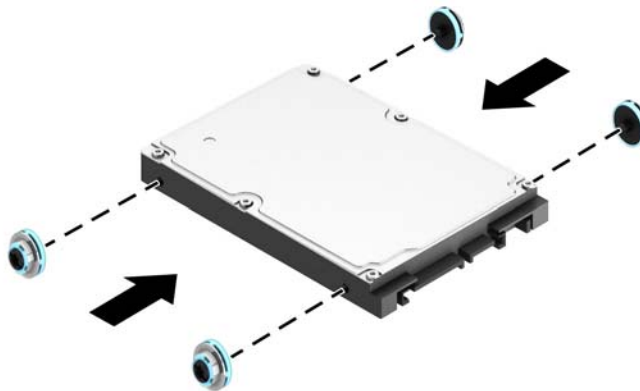
5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外します。
6. コンピューターのアクセスパネルを取り外します。
7. ハードディスクドライブの電源ケーブル (1) およびデータケーブル (2) を、システムボードから取り外します。



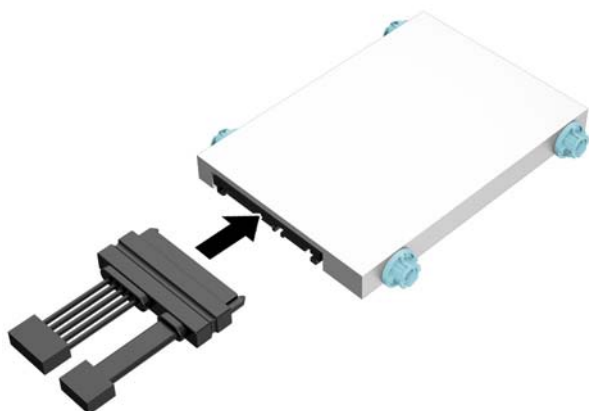
8. ハードディスクドライブの背面の横にあるリリースレバーを外側に引きます (1)。リリースレバーを引いたままドライブを後方にスライドさせます。ドライブが止まったところで、ドライブを持ち上げてベイから取り出します (2)。



9. ハードディスクドライブを取り付ける場合は、銀と青の分離取り付けネジを古いハードディスクドライブから外して、新しいハードディスクドライブに取り付ける必要があります。



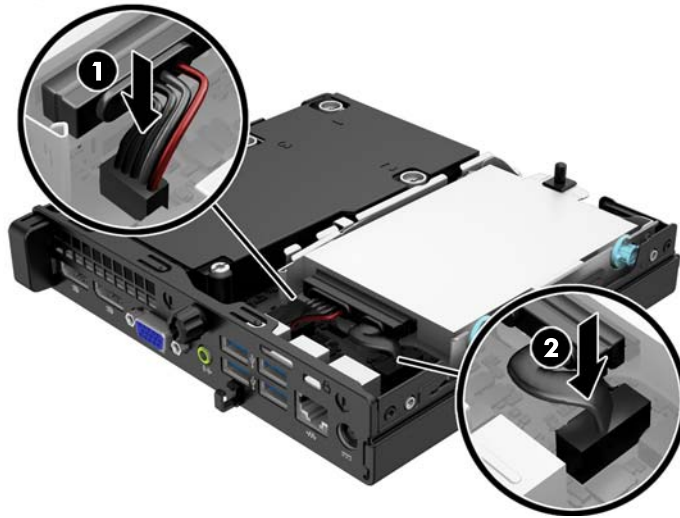
10. 元のドライブのドライブケーブルを新しいドライブに付け替えます。



11. ガイド用ネジの位置をシャーシ上のドライブケースのスロットの位置に合わせてから、ハードディスクドライブを押し込んでドライブベイに差し込みます。次に、正しい位置に固定されるまでドライブを前方にスライドさせます。



12. ハードディスクドライブの電源ケーブル (1) およびデータケーブル (2) を、システムボードに接続します。



13. アクセスパネルを取り付けなおします。
14. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを再び取り付けます。
15. 電源コードを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。
16. アクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

メモリの増設

お使いのコンピューターは、ダブルデータレート 3 シンクロナス DRAM (DDR3-SDRAM) スモールアウトラインデュアルインラインメモリモジュール (SODIMM) を装備しています。

SODIMM

システムボード上にあるメモリソケットには、業界標準の SODIMM を 2 つまで取り付けることができます。これらのメモリソケットには、少なくとも 1 つの SODIMM が標準装備されています。システムボードに最大 16 GB までメモリを増設できます。

DDR3-SDRAM SODIMM

システムのパフォーマンスを最大まで高めるためには、以下の条件を満たす SODIMM を使用することをおすすめします。


- 業界標準の 204 ピン
- アンバッファード非 ECC PC3-12800 DDR3-1,600 MHz 準拠
- 1.5 ボルト DDR3-SDRAM SODIMM

このとき、DDR3-SDRAM SODIMM は、以下の条件も満たしている必要があります。

- CAS レイテンシ 11 (DDR3/1,600 MHz、11-11-11 タイミング) をサポートしている
- JEDEC (Joint Electronic Device Engineering Council) の仕様に準拠している

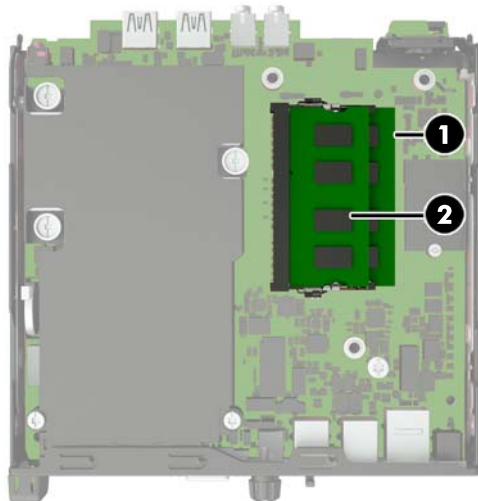
さらに、お使いのコンピューターでは以下の機能やデバイスがサポートされます。

- 512 メガビット、1 ギガビット、および 2 ギガビットの非 ECC メモリテクノロジー
- 片面および両面 SODIMM
- x8 および x16 DDR デバイスで構成された SODIMM。x4 SDRAM で構成された SODIMM はサポートされない

 **注記:** サポートされない SODIMM が取り付けられている場合、システムは正常に動作しません。サポートさえる SODIMM についての最新情報は、カタログまたは HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/> の製品情報で確認してください。

SODIMM ソケットについて

システムボードには2つのSODIMMソケットがあり、1つのチャンネルについて1つのソケットがあります。ソケットには、DIMM1およびDIMM3の番号が付けられています。DIMM1ソケットはメモリチャンネルBで動作し、DIMM3ソケットはメモリチャンネルAで動作します。



番号	説明	システムボードラベル	ソケットの色
1	SODIMM1ソケット、チャンネルB	DIMM1	黒
2	SODIMM3ソケット、チャンネルA	DIMM3	黒

取り付けられているSODIMMに応じて、システムは自動的にシングルチャンネルモード、デュアルチャンネルモード、またはフレックスモードで動作します。

- 1つのチャンネルのSODIMMソケットにのみSODIMMが取り付けられている場合、システムはシングルチャンネルモードで動作します。
- チャンネルAのSODIMMの合計メモリ容量とチャンネルBのSODIMMの合計メモリ容量が等しい場合、システムはより高性能なデュアルチャンネルモードで動作します。
- チャンネルAのSODIMMのメモリ容量とチャンネルBのSODIMMのメモリ容量が異なる場合、システムはフレックスモードで動作します。フレックスモードでは、最も容量の小さいメモリが取り付けられているチャンネルがデュアルチャンネルに割り当てられるメモリの総量を表し、残りはシングルチャンネルに割り当てられます。1つのチャンネルのメモリ容量が他方よりも多い場合は、多い方をチャンネルAに割り当てる必要があります。
- どのモードでも、最高動作速度はシステム内で最も動作の遅いSODIMMによって決定されます。

SODIMM の取り付け

△ 注意：メモリモジュールの取り付けまたは取り外しを行うときは、電源コードをコンセントから抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。コンピューターが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、メモリモジュールには常に電気が流れています。電気が流れている状態でメモリモジュールの着脱を行うと、メモリモジュールまたはシステムボードを完全に破損するおそれがあります。

お使いのメモリモジュールソケットの接点には、金メッキが施されています。メモリを増設するときには、接点の金属が異なるときに生じる酸化や腐食を防ぐため、メモリモジュールは金メッキのものを使用してください。

静電気の放電によって、コンピューターやオプションカードの電子部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、[29 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

メモリモジュールを取り扱うときは、金属製の接点に触れないでください。金属製の接点に触れると、モジュールが破損するおそれがあります。

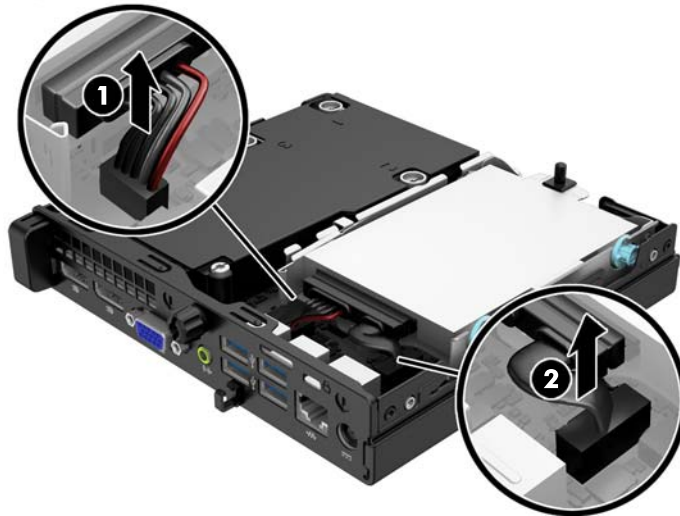
1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンし、コンピューターおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

△ 注意：メモリモジュールの取り付けまたは取り外しを行うときは、電源コードをコンセントから抜いて電力が放電するまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。コンピューターが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、メモリモジュールには常に電気が流れています。電気が流れている状態でメモリモジュールの着脱を行うと、メモリモジュールまたはシステムボードが完全に破損するおそれがあります。

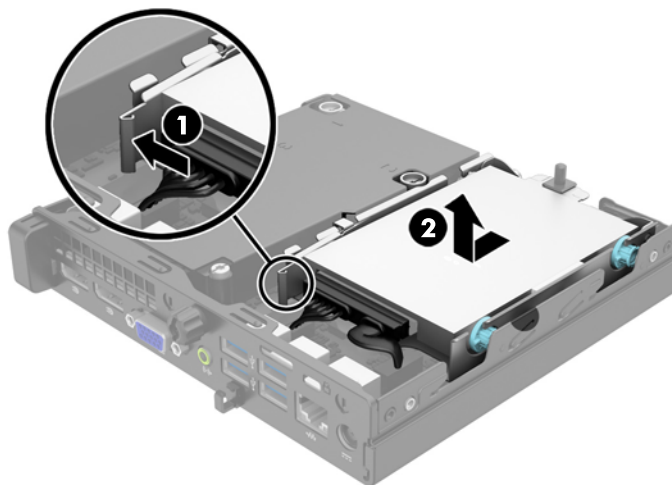
5. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドからコンピューターを取り外してから置きます。
6. コンピューターのアクセスパネルを取り外します。

7. ハードディスクドライブの電源ケーブル (1) およびデータケーブル (2) を、システムボードから取り外します。

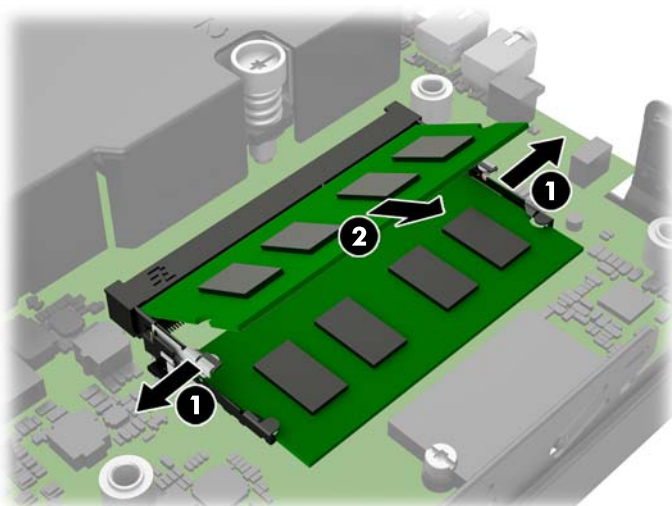
⚠ 警告！ 火傷の危険がありますので、必ず、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してから、次の手順に進んでください。



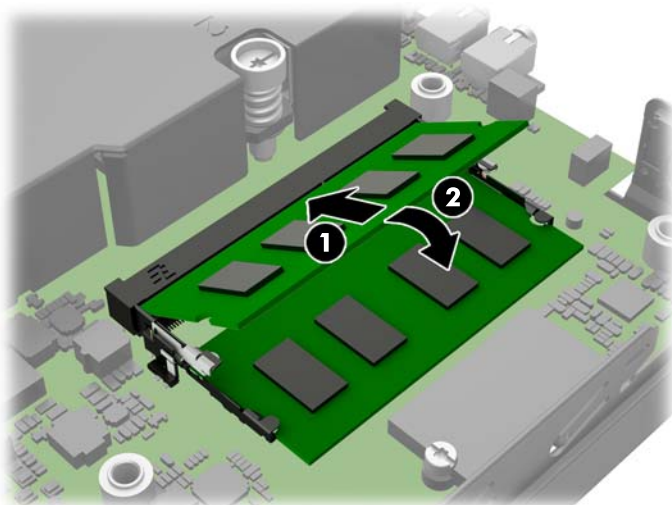
8. ハードディスクドライブの背面の横にあるリリースレバーを外側に引きます (1)。リリースレバーを引いたままドライブを後方にスライドさせます。ドライブが止まったところで、ドライブを持ち上げてベイから取り出します (2)。




9. SODIMM を取り出すには、SODIMM の両側にある 2 つのラッチを外側に押し (1)、ソケットから SODIMM を引き出します (2)。



10. 新しい SODIMM を約 30°の角度でソケットに差し込み (1)、SODIMM を押し下げて (2) ラッチを所定の位置に固定します。



 **注記：**メモリモジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。メモリモジュールのノッチ（切り込み）をソケットのタブに合わせます。

11. ハードディスクドライブを取り付けなおし、電源ケーブルとデータケーブルをシステムボードに接続します。
12. アクセスパネルを取り付けなおします。
13. スタンドを取り付けてコンピューターを使用している場合は、スタンドを再び取り付けます。
14. 電源コードを接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。
15. コンピューターのカバーまたはアクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティデバイスをすべて取り付けなおします。

コンピューターの電源を入れたときに、増設メモリが自動的に認識されます。

電池の交換

お使いのコンピューターに付属の電池は、リアルタイムクロックに電力を供給するためのものです。電池は消耗品です。電池を交換するときは、コンピューターに最初に取り付けられていた電池と同等の電池を使用してください。コンピューターに付属している電池は、3Vのボタン型リチウム電池です。

⚠ 警告！ お使いのコンピューターには、二酸化マンガンリチウム電池が内蔵されています。電池の取り扱いを誤ると、火災や火傷などの危険があります。けがをすることがないように、以下の点に注意してください。

- 電池を充電しないでください。
- 電池を 60°C を超える場所に放置しないでください。
- 電池を分解したり、つぶしたり、ショートさせたり、火中や水に投げたりしないでください。
- 電池を交換するときは、コンピューターに最初に取り付けられていた電池と同等の電池を使用してください。

⚠ 注意： 電池を交換する前に、コンピューターの CMOS 設定のバックアップを作成してください。電池が取り出されたり交換されたりするときに、CMOS 設定がクリアされます。

静電気の放電によって、コンピューターやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

📖 注記： リチウム電池の寿命は、コンピューターを電源コンセントに接続することで延長できます。リチウム電池は、コンピューターが外部電源に接続されていない場合のみ使用されます。

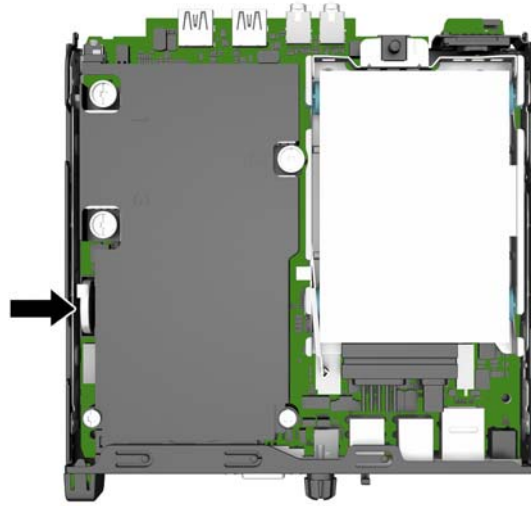
HP では、使用済みの電子機器や HP 製インクカートリッジのリサイクルを推奨しています。日本でのリサイクルプログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/jp/hardwarerecycle/> を参照してください。日本以外の国や地域の HP でのリサイクルプログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/recycle/>（英語サイト）を参照してください。

1. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
2. USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブル メディアをコンピューターから取り出します。
3. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピューターおよび外付けデバイスの電源をすべて切ります。
4. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。


⚠ 注意： システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システム ボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

5. コンピューターのアクセス パネルを取り外します。

6. システムボード上の電池および電池ホルダーの位置を確認します。

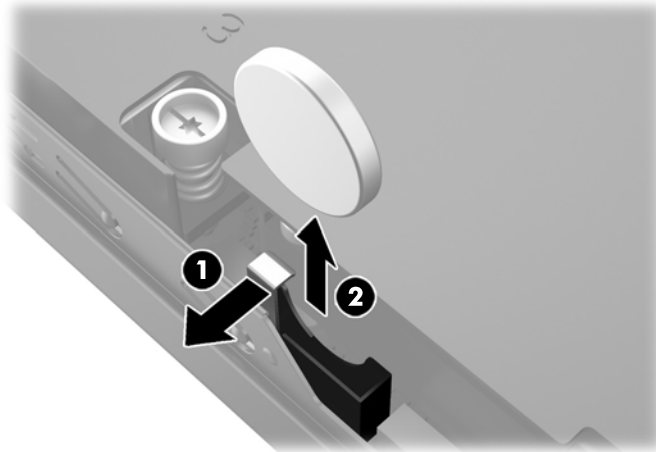


7. システムボード上の電池ホルダーの種類に応じて、以下の手順で電池を交換します。

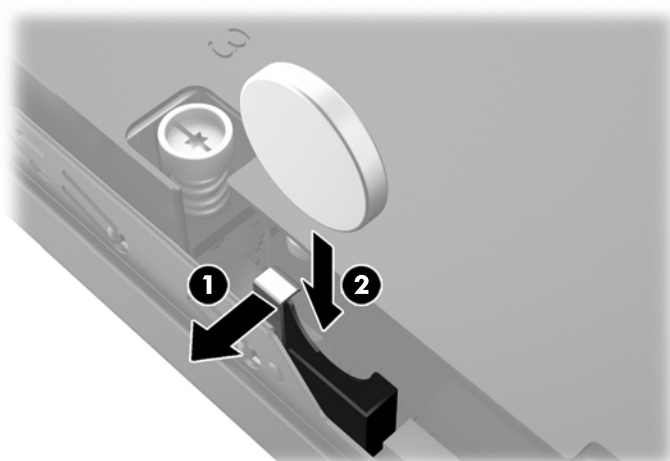
 **注記:** 電池の取り出しおよび交換には、ピンセットや小さいラジオペンチなど小型の工具が必要になる場合があります。

タイプ1

- a. 電池を固定しているクリップを後方に引いて (1)、電池を持ち上げてホルダーから取り出します (2)。

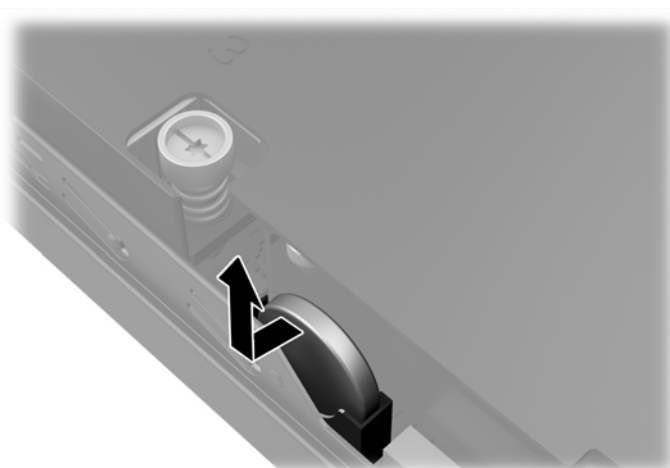


- b. クリップを後方に引き (1)、交換用電池をホルダーに挿入して押し込みます (2)。



タイプ 2

- a. 電池をシャーシの外側に向けて押し、ホルダーとの固定を解除して取り出します。



- b. 電池をホルダーに接するまで押し下げ、ホルダーに向けて押し込んで固定します。



 **注記**：電池の交換後、以下の操作を行うと交換作業は完了です。

8. コンピューターのアクセスパネルを取り付けなおします。
9. 電源ケーブルを元のとおりに接続し、コンピューターの電源を入れます。
10. [コンピューターセットアップ (F10) キーティリティ]を使用して、日付と時刻、パスワード、およびその他の必要なシステムセットアップを設定しなおします。
11. コンピューターのアクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。

セキュリティ ロックの取り付け

以下の図および次ページの図に示すセキュリティ ロックは、コンピューターを保護するために使用できます。

ロック ケーブル



南京錠



A 静電気対策

人間の指などの導電体からの静電気の放電によって、システムボードなど静電気に弱いデバイスが損傷する可能性があります。このような損傷によって、デバイスの耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷の防止

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。


- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れてたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアースされている面に置きます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れるときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。

アースの方法

アースにはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- すでにアースされているコンピューターのシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1\text{ M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドは肌に密着させてください。
- 立って作業する場合には、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合には、両足にアースバンドを付けます。
- 磁気を帯びていない作業用具を使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

 **注記：** 静電気について詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

B コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意

コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意


コンピューターおよびモニターの設置や手入れを適切に行えるよう、以下のことを守ってください。

- 湿度の高い所や、直射日光の当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所には置かないでください。
- コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。また、通気が確保されるよう、コンピューターの通気孔のある面とモニターの上部に、少なくとも 10.2 cm の空間を確保してください。
- 内部への通気が悪くなりますので、絶対にコンピューターの通気孔をふさがないでください。キーボードを横置き構成の本体のフロントパネルに立てかけることも、おやめください。
- コンピューターのアクセスパネルまたは拡張カードスロットのカバーのどれかを取り外したまま使用しないでください。
- コンピューターを積み重ねたり、互いの排気や熱にさらされるほどコンピューターどうしを近くに置いたりしないでください。
- コンピューターを別のエンクロージャに入れて操作する場合、吸気孔および排気孔がエンクロージャに装備されている必要があります。また、この場合にも上記のガイドラインを守ってください。
- コンピューター本体やキーボードに液体をこぼさないでください。
- モニター上部の通気孔は、絶対にふさがないでください。
- スリープ状態を含む、オペレーティングシステムやその他のソフトウェアの電源管理機能をインストールまたは有効にしてください。
- 以下の項目については、必ずコンピューターの電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてから行ってください。
 - コンピューターやモニターの外側、およびキーボードの表面が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、糸くずの出ない柔らかい布で拭いて乾かしてください。洗剤などを使用すると、変色や変質の原因となります。
 - コンピューターの通気孔やモニター上部の通気孔は、ときどき掃除してください。糸くずやほこりなどの異物によって通気孔がふさがれると、内部への通気が悪くなり、故障の原因となります。


運搬時の注意

コンピューターを運搬する場合は、以下のことを守ってください。

1. ハードディスクドライブのファイルを外付け記憶装置にバックアップします。バックアップをとったメディアは、保管中または運搬中に、電気や磁気の影響を受けないように注意します。

 **注記：**ハードディスクドライブは、システムの電源が切れると自動的にロックされます。

2. すべてのリムーバブルメディアを取り出して保管します。
3. コンピューターと外部装置の電源を切ります。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き取り、次にコンピューターからも抜き取ります。
5. 外付けデバイスの電源コードを電源コンセントから抜いてから、外付けデバイスからも抜き取ります。

 **注記：**すべてのスロットに保護用部材がしっかりとはめ込まれていることを確認します。

6. お買い上げのときにコンピューターが入っていた箱か、同等の箱に保護材を十分に詰め、コンピューターとキーボードやマウスなどの外部システム装置を入れて梱包します。

索引

あ

- アクセスパネル
 - 取り付け 13
 - 取り外し 12

う

- 運搬時の注意 31

こ

- コンピューター操作のガイドライン 30

し

- 仕様
 - メモリ 19
- シリアル番号の記載位置 8

せ

- 静電気対策、損傷の防止 29
- 製品識別番号の記載位置 8
- セキュリティ
 - 南京錠 28
 - ロックケーブル 27

た

- 縦置きへの変更 14

つ

- 通気のガイドライン 30

て

- 電源コードの接続 11
- 電池
 - 交換 24

と

- 取り付け
 - ガイドライン 9

- コンピューターのアクセスパネル 13
- 電池 24
- ハードディスクドライブ 15
- メモリ 19

取り外し

- コンピューターのアクセスパネル 12
- 電池 24
- ハードディスクドライブ 15

は

- ハードディスクドライブ
 - 取り付け 15
 - 取り外し 15

ふ

- フロントパネルの各部
 - EliteDesk 800、EliteDesk 705、ProDesk 600 2
 - ProDesk 400 3

め

- メモリ
 - 仕様 19
 - ソケットへの取り付け 20
 - 取り付け 19

り

- リアパネルの各部
 - EliteDesk 705 5
 - EliteDesk 800 4
 - ProDesk 400 7
 - ProDesk 600 6

ろ

- ロック
 - 南京錠 28
 - ロックケーブル 27